

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ  
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

# 会報

2013 ▶ 2014  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

## プログラム

- 本日  
来賓卓話「留萌観光のとりくみ」  
NPO法人留萌環境協会  
事務局長 海東 剛哲様
  - 次週予定  
「我が生い立ちPart 2」  
佐藤 潔 会員
- 会員誕生日  
4月4日 角 隆巨
- 結婚記念日  
4月3日 佐々木 繁
- 配偶者誕生日  
4月6日 関野 暁美

No. 2600  
第37回 4月2日

出席報告

前  
例  
会

会員総数……………41名  
出免会員……………8名  
出免出席……………3名  
基準会員出席……………22名  
出席率……………72.22%

前  
々  
会

第34回 3月12日  
欠席会員……………10名  
内メイクアップ……………4名  
修正出席率……………84.21%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

## 🖋️ 会長報告 ……………

1. 萌っこ春まつりの礼状をいただきました。  
皆様に回覧いたします。

前 回 669,600円  
今 回 9,000円  
累 計 678,600円

## 📁 幹事報告 ……………

- 芦別RCより4月の例会案内を受領しました。

## 👤 ニコニコBOX ……………

- 良い事がありました。 大嶋会員
- 孫が大学に受かりました。 渡部会員
- 先日の夜間例会ありがとうございました。 燕会員
- 焼肉ごちそうさまでした。 堀会員
- ごちそうになりました。 鵜城会員

## 📖 プログラム ……………

会員卓話「我が生い立ち」

梁川 信 会員

私は昭和24年9月に留萌市南町9区、現在の南町4丁目にて3人兄弟の次男として生まれました。南町の公民館あたりです。

当時、南町地区は人石と言われており、自衛隊駐屯地の本部がある建物で、戦時中に石炭から人造石油を作る研究をしていた施設であつたらしく、南町1区から9区まで住宅があり、1区・2区は1戸建て、3区から9区までは4軒長屋になっていました。人石地区は市街地から

遠距離であったので、お祭り・お盆等の年中行事は地区内で町内会中心に実施されておりましたし、毎日の買い物についても、米・肉・野菜・食料品・酒等の店も全て揃っていて、画一された地区となっております。

小学校は1年生から2年生までは東光小学校、現在の北電営業所の所に通学。もちろん徒歩であり、冬季間の吹雪の時も上級生の後ろに付いて、雪と風を避け通学していました。そして、3・4年生の時に緑ヶ丘小学校が開校し、通学距離も従来の半分以下で、ものすごく楽になった記憶があります。

中学校は留萌中学で、現在の留萌振興局の場所まで通いました。そして高校は留萌高校で、現在の留萌中学校の場所に通い、昭和43年に卒業。国家公務員の初級には合格をしたが、名簿登録されるものの、各官庁に履歴書を提出したが、くしくも公務員5%削減の年に当たり1年間採用なし。その間、二瓶木材に勤務していたが、昭和44年に留萌商工会議所で職員を募集しているとの事で、採用試験を受けて採用となり、現在に至っております。

これが私の生い立ちであります。時間がまだまだ残っておりますので、これからは、私個人として良い経験をさせていただいた事を一つ、二つお話をさせていただきます。

一つは、自分は昭和51年に結婚し、子供は男の子2人おります。上の子が小学校入学と同時にどういう訳かPTAの役員にされまして、それも2年目から教養部長になり、先生との交流、PTA役員及び学年・学級役員との交流と様々な人との繋がりを持つ事が出来た事です。教養部は広報紙作り、運動会のPTA競技の運営、研修会開催及び市P連・道P連への参加と様々な役割があります。特に、広報紙作りでは年に一度、全道PTA広報紙コンクールがあり、当時管内では羽幌小学校と留萌中学校が知事賞を受賞しており、教養部のお母さん方も緑ヶ丘小学校も知事賞を目指したいと、教養部員全員が一丸となり遅くまで広報紙作りに努力した結果、見事知事賞を2回も受賞することができ、その当時の方々との活動と交流が私を成長させてく

れたと思っています。

二つめは、商工会議所の職員となり、地域経済を支える各企業のトップが集う経済団体で、色々な業界・団体の方々との情報交換が出来る事。そして、昭和50年に経営指導員となってからは、市内小規模企業の方、中小企業の方々に金融・税務・労働・経営等の経営に関するお手伝いをさせていただく事によって、私自身も商法・税法・民法・労働法等の経営に関する法律について、相談内容によっては関係官の担当官と相談をし、中小企業診断士・税理士・弁護士等に相談内容を引き継ぐ役目を果たしながら、色々勉強をさせていただいたと思っております。

以上、申し上げたとおり、私はPTA活動、そして商工会議所職員として、様々な人々との交流・活動による成長、地域経済団体の職員として地域経済を支える中小企業の経営活動にほんの少し関わることが出来た事に感謝し、本日の卓話の私の担当時間を終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

.....

「会頭就任挨拶」

対馬 健一 会員

昨年11月、留萌商工会議所の議員改選に当たり、第12代会頭に就任いたしました。本来は、会頭職につく予定はございませんでしたが、10月20日に前会頭がご自身の都合により、会頭を受ける事が出来なくなり、急遽の引継ぎとなりました。副会頭以下の組閣人事もあつたものですから、11月に入つての就任となりました。

私自身、会頭職を引き受けるに当たり、この厳しい経済環境の中、どのように地域経済再生を図っていくか、責任の重大さを痛感しております。父が会頭をする姿を見てきましたので、会頭の大変さもよく分かります。幸い、前職が副会頭でしたので、どのような会議があつて何をするのかだけは、ある程度分かつてはおりますが、責任の重さは比較になりません。皆様方の力を借りて、共に留萌の経済発展のためにご協力いただければと、切に思います。

さて、まずは北海道の置かれている現状です

が、人口減少・少子高齢化が全国よりも早く進展し、景気回復の遅れから依然として厳しい経済情勢となっております。将来展望も決して明るくない状況となっております。

先日、全道の会頭が集まる会議に出席してまいりましたが、北海道商工会議所連合会として、これからの北海道が成長するための成長戦略ビジョンを検討し、将来北海道が未来にどう立ち向かっていくか検討を重ね、指針をまとめました。成長していくための5つの分野、「安心安全」「食」「観光」「エネルギー」「物流」に重点を置き、6本のビジョンと戦略を掲げております。

この6本のビジョンのうちで、この地域に関わるものを幾つか紹介させていただきます。

まず一つは、食料供給基地から「食料備蓄基地」への転換です。

これまでの北海道は、生産された農水産物が本州へ輸送される際、限られた季節に大量に輸送され、本州の需要に合わせた出荷が出来ない、また、原料のまま出荷してきました。これからの課題は、物流の平準化であり、生産地・出荷地で一時備蓄する事が出来れば、安定的な出荷が可能であり、需要に合わせた出荷により価格の安定、加えて産地での加工も可能であり、雇用にもつながります。また非常時の食料備蓄の役割を担うこととなります。「冷温備蓄倉庫」を設置する事は、物流体制を確立することであり、季節繁閑と片荷を解消していくことが北海道の優先課題であります。食料備蓄倉庫設置候補地と輸送ルート案として港は、(稚内港、留萌港、小樽港、函館港、苫小牧港、釧路港)の6港で、倉庫の設置候補地はこの6港に名寄、深川、北見、帯広を加えた10市です。

二つ目のビジョンは、エネルギー戦略プログラムです。

「エネルギー供給基地」として日本海側の送電網の強化、災害時のリスク分散を図り、本州へエネルギーを供給できる体制を構築することあります。稚内港、留萌港、石狩新港、小樽港、4港のエネルギー基地化であり、ロシア等からの原油、LNGの受け入れ基地、石炭資源、森林資源等の戦略的活用策の検討、そして再生エ

ネルギーの活用。発電を視野に入れ、先ほどの冷温倉庫への電力の地産地消化でもあります。

三つ目は、次世代の人材育成であります。

全国学力テストのテスト結果で、北海道は平成25年度、平均正答率小学校が45位、中学校が37位でありました。学力だけが指標ではありませんが、基礎学力全国トップクラスの秋田県では、人材育成に40年間も取り組んでいる成果です。人材育成は地域社会の再構築、活性化の原動力であります。教育現場だけではなく、経済界を上げて取り組んでいく必要があると思います。その他にも、まだまだこの地域の取り組むべき課題はあると思いますが、地域の特性をどう生かすかが「鍵」であると思います。

平成26年度の留萌商工会議所では、事業計画で七つの重要項目を掲げました。

1. 地域経済の振興と雇用の確保。
2. 地域交通ネットワークの確保。
3. 留萌港の利活用の推進。
4. 商業地域の集積による中心市街地の活性化。
5. 交流人口の増大と地域の「食」の発信。
6. エネルギー基地としての企業誘致の推進。
7. 商工会議所の活性化と運営基盤の強化。

これが26年度の重要項目です。まだ、議員総会を開催しておりませんので、議員総会より早くロータリークラブで計画を発表することが出来ません。大雑把にいきますと、前年度の事業を引き継ぐものもごございますが、各部会・委員会が開催されて、色々と事業計画が出て来ております。留萌地域の振興のため、会議所議員・職員・会員皆で協力して、少しでも留萌の街の経済活動が活発になるよう、努力してまいりたいと思っております。

どうぞ、ロータリークラブの会員さんは職業を通じての奉仕が専門ですので、会議所活動に通じるものがあると思います。是非、皆様のご理解とご協力を私にお貸しくださいませ、これ以上の幸せはございません。簡単ですが、留萌商工会議所会頭に就任してまだ4ヶ月の新米会頭の挨拶とさせていただきます。



## すべての人たちに識字能力を

「基本的教育と識字率向上」は、「平和と紛争予防/紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「経済と地域社会の発展」とともに、ロータリーの6つの重点分野の一つに指定されています。ロータリー財団では、これら重点分野における基本方針を打ち出しています。今月は、識字率向上月間にちなみ、「基本的教育と識字率向上」に関するロータリー財団の基本方針をご紹介します。

ロータリーは、すべての子どものための教育を改善し、子どもと成人の識字率を高めるための活動と研修を支援します。

### I. 「基本的教育と識字率向上」の目的と目標

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような形で、人々の基本的教育と識字能力習得を支援することを可能にします。

1. 基本的教育と識字能力をすべての人々に与える地域社会の力を高めるプログラムを支援し、地域社会の参加を促進。
2. 地域社会における成人の識字率の向上。
3. 教育における男女格差を減らすための活動。
4. 基本的教育と識字率向上に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援。

### II. 受領資格の判断基準

ロータリー財団は、以下を目標として掲げる活動を、重点分野「基本的教育と識字率向上」の範囲内にある活動とみなします。

1. 質の高い基本的な初等・中等教育の機会の提供。

2. 成人の識字教育。
3. 読み書きの教授、カリキュラム開発、学校経営に関する研修の提供。
4. 資料と設備の充実を通じた、教育経験の向上。
5. 地域社会による教育システムの管理。
6. 上記の活動を支援する職業研修チーム(VTT)。
7. 学校用機の購入(ただし、基本的教育と識字率向上のための詳細かつ証明可能な計画書を提出すること)。
8. 基本的教育と識字率向上に関連する大学院課程で学ぶための奨学金。

ロータリー財団は、以下を目標として掲げる活動を、重点分野「基本的教育と識字率向上」の範囲外にある活動とみなし、グローバル補助金の受領資格がないものとみなします。

1. 設備や備品の購入のみのプロジェクト。
2. 授業料や学用品のみを提供するプロジェクトで、将来に地域社会が自力でこれらを提供していくための手段を提供しないもの。

